

# フランス美術の愉しみ

## オリエンタリズムからジャポニスムへ(HA)



クロード・モネ  
「ラ・ジャポネーズ」1876年



ヴァン・ゴッホ  
「タンギー爺さん」1887年



エミール・ガレ  
「鯉文花器」1878年

19世紀後半のパリではジャポニスム(日本趣味)が大ブーム。印象派やゴッホ、ゴーギャンど、当時の芸術家たちは競うように浮世絵を買い求め、自分たちの伝統にはない新鮮な表現に目を見張ったのです。

今回のシリーズでは、東方世界を異国情緒的に描き出した18世紀のオリエンタリズム(東方趣味)から、西洋近代美術の展開に大きな影響を与えたジャポニスムを紹介します。

講師:柴 勤 (フランス美術史講師)

土曜日 14時~15時30分 全6回

受講料:12,900円 要予約 定員10名

※日本語で行います。

※受講するには、札幌アリアンス・フランセーズの生徒登録が必要です。

- 4月11日 オリエンタリズムの拡大
- 4月25日 ジャポネズリーからジャポニスムへ
- 5月16日 パリ万国博覧会とジャポニスム
- 5月30日 ジャポニスムと印象主義の画家たち
- 6月13日 ゴッホとジャポニスム
- 6月20日 アール・ヌーヴォーとジャポニスム

参加ご希望の方は、札幌アリアンス・フランセーズ

Tel : 011-261-2771まで。

札幌市中央区南2条西5丁目10-2 サンワードFビル2F